

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

消防の広域化、国際興業バス 給食放射能検査機器購入など

議員全員協議会で報告

12月議会

飯能市議会全員協議会が15日開かれ、12月議会への提案議案などが報告されました。

(仮称)公民館の行政センター化については、既報のとおり今議会には提案されません。主な報告を紹介します。

広域議会定数を所沢の言いなりで削る

消防広域化(飯能、所沢、狭山、入間、日高5市の合併)については、「埼玉西部消防組合の設立」が議案として提案されますが、広域議会の議員定数を当初の合意事項として報告があった20名から4名削減し、飯能、狭

山、入間、日高をそれぞれ1名づつ削減することが報告されました。

新井市議は、「どこでどのような議論があったのか」と質問。沢辺市長は、「11月10日の協議会で、所沢市から人口比から見ても不均衡であるとの意見があり、このようになった」と答弁しました。

このことは、今後の運営においても、大都市の所沢言いなりで進められていく恐れがある大問題です。

国際興業バス問題

国際興業バス問題では、「25年3月末で飯能営業所から撤退したい」としていることか



ら、飯能市では赤字路線の名栗方面の乗降客調査を実施、「市の補助金の増額と24年度のスクールバス契約を随意契約にする方向で、路線を維持したい」と報告しました。

放射能汚染による茶商への利子補給

放射能物質が狭山茶から検出されたことで大きな影響を受けてい

る製茶の小売販売業者に対して、飯能市中小企業小口資金利子助成制度を改正して、1・3%のうち0・8%の利子補給を行うとしています。

給食食材の放射能調査

学校・保育所給食の放射能物質の測定については11月から業者委

給食食材の放射性物質検出されず 放射能調査結果(第一回)

このたび、飯能市では、学校・保育所で使用する給食食材の放射性物質の測定を実施し、結果が出ましたのでお

知らせします。今回の測定は、11月7～11日に実施したもので、小学校5校、中学校5校、共同調理5



託で、測定を実施してありますが、12月議会の補正予算で、測定機器(学校、保育所で2台)を購入し、業者委託でなく給食食材が測定ができるようになります。

検査品目	産地	放射性物質		
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ジャガイモ	北海道	検出せず	検出せず	検出せず
鶏肉	岩手	検出せず	検出せず	検出せず
干し椎茸	静岡	検出せず	検出せず	検出せず
しめじ	長野	検出せず	検出せず	検出せず
小松菜	埼玉	検出せず	検出せず	検出せず
さつまい	千葉	検出せず	検出せず	検出せず
みかん	和歌山	検出せず	検出せず	検出せず
鮭切り身	ベトナム	検出せず	検出せず	検出せず
ハウレンソウ	埼玉	検出せず	検出せず	検出せず
プロコラー	埼玉	検出せず	検出せず	検出せず
白菜	茨城	検出せず	検出せず	検出せず
大根	千葉	検出せず	検出せず	検出せず
チンゲンサイ	茨城	検出せず	検出せず	検出せず
りんご	山形	検出せず	検出せず	検出せず
鮭切り身	北海道	検出せず	検出せず	検出せず
米	茨城	検出せず	検出せず	検出せず
牛乳	埼玉	検出せず	検出せず	検出せず
豚肉	青森	検出せず	検出せず	検出せず
玉葱	北海道	検出せず	検出せず	検出せず
ニンジン	千葉	検出せず	検出せず	検出せず
キャベツ	千葉	検出せず	検出せず	検出せず
もやし	栃木	検出せず	検出せず	検出せず
ピーマン	茨城	検出せず	検出せず	検出せず
しめじ	長野	検出せず	検出せず	検出せず
柿	和歌山	検出せず	検出せず	検出せず

施設と保育所10ヶ所で実施しました。「検出限界値」は10 Bq/kgですが、「検出せず」はこの値未満を意味します。

測定については、日本海事検定協会(横浜)食品分析センターで行い、使用測定機器は、セイコー・イージーア・ンドジー株式会社製「ゲルマニウム半導体検出器GEM25-70」です。今回は、11月分、12月以降も委託で実施する予定ですが、検査機器購入後は、市として直接測定できるようになります。

12月議会日程

- 25日(金) 開会日
- 29日(火) 本会議 議案提案
- 30日(水) 一般質問
- 11・10 滝沢おさむ
- 1日(木) 一般質問
- 13・10 新井たくみ
- 15・30 山田とし子
- 2日(金) 一般質問
- 13・10 金子としえ
- 5日(月) 常任委員会
- 9日(金) 討論・採決

飯能市には2010年から15年の5年間の「教育振興基本計画」と「生涯学習基本計画」があり、

波紋

「振興計画」は08年から2年かけて準備されたもので、まだ2年しかたっていない▼この「基本計画」にはアンケートに公民館の講座の種類の拡大や内容の充実(46・1%)、公民館、図書館の施設の整備(35%)の高い要望が寄せられたとして、「生涯学習のまち・飯能」をめざして、公民館を生涯学習の拠点として充実させることを市民に約束しています▼ところが市は突然、この約束をほごにして「公民館を地区行政センターにする」といじりました。さすがに「有料化」は市民の強い批判でひっこめましたが、教育委員会の計画を市が土足で踏みじり、社会教育の拠点である公民館を行政センターの一部にしてしまうなどという暴挙がまかり通るのであれば「独裁」といわれても仕方がないのでは。

厳しい生活に増税と負担増

ゆるいサーブに切り替えて

11月1日、22年度決算審査を締めくくる市長への総括質疑が行われました。

決算委員の新井巧市議が、①市の財政運営の考え方と市民生活②学童保育における減免の助成③給食調理員の退職不補充問題④非常勤職員の処遇改善⑤土地開発公社の総括⑥国保増税について、市長の見解を質しました。

22年度決算
総括質疑

まず、民間給与実態統計調査によると年収200万円以下の給与所得者が5年連続で1000万人を超え、飯能市においても、課税標準額にみる所得区分をみると200万円以下のいわゆる低所得者が2年前より5.1%増え62.4%にもなっていること、国保加入世帯では一層顕著で、一世帯当たりの所得が135万で、2年前より、19%も落ち込んでいる実態を示し、国保税の値上げや下水道使用料金の値上げを強行したことを批判。市民の負担力、負担能力は著しく低下している。増税や負担増と合わせて、滞納者への差し押さえの強化、人間ドックの補助削減など市民サーブに切り替えてをすべきではないと迫りました。



小規模学校の特 質に対応した国 語教育

11月4日、東吾野小学校において、国語教育研究発表会が行われ

ました。当校は全児童59名の小規模校で、今年度から2・3学年の複式学級が始まったことから、「小規模校における国語授業」「複式学級のわたりの授業（両学年をわたり歩く教師の指導・援助）」について考える研究がテーマでした。
ここでの中心課題は、「自分たちで学習を進めることができる力」をどう養うか、「児童同士のフリートーク」が注目されました。

記念講演では、高知大学教育学部付属小学校教諭の田中先生が、「子どものステキな姿が見られる国語科複式学級の授業をめざして」と題する講演を行い、複式学級も一つの学級にとらえ、授業を子どもが主体的に取り組む学びの場にする必要がある。このことは単式でもいえるのではないかと強調しました。参加してとても勉強になった研究会でした。市議会議員 新井巧



答弁を訂正させ、 「検討する必要な い」と沢辺市長

学童問題では、「学童保育は1997年に児童福祉法に位置づけられた。市内の学童の会は第二種福祉事業にも位置づけられ、福祉事業者として位置づけられた組織として活動している。しかし、一人親家庭の保育料の減免などで運営が厳しい状況にある。日高市では、保育料は所得段階にあわせて市が徴収し、委託料と保育料を学童の会に支払っている。その不足分の補てんは約730万円。日高市のような運営を検討できないか」と質しました。

担当参事は当初、「検討したい」と答弁しましたが、沢辺市長は訂正を指示、市長自らも「検討する必要はない」と答弁しました。

住民要求をかかげて 日本共産党の一般質問

滝沢あさむ 30日(水) 11・10

1 地域交通問題
デマンドバス運行など「地域の足の確保」が求められている。精明、双柳地区などについて

①地域住民の声を受けて止めているか②オンデマンド交通システム導入について③利用者、事業者、市などで協議会を立ち上げる必要があるのではないかと

2 環境問題
①第2次環境基本計画に向けて、地球にやさしいまちづくり

①未利用エネルギーの利用促進と再生可能エネルギーについて②環境にやさしい交通体系、自動車から自転車のま

ちへの整備について②地域の環境整備①藤田掘の環境改善について

3 区画整理問題
笠縫地区の問題について①佐瀬踏み切りから国道299号までの下水道整備について②西武線元加治5号踏み切りから双柳岩沢線まで

の一方通行解消を③未舗装道路の整備促進を

新井たくみ 1日(木) 13・10

1 市長の政治姿勢
「市民が主役」の街づくり＝真に市民との協働をめざして

●(仮称)飯能大河原線、久下六道線、(仮称)地区行政センター計画などに関連して

2 総合政策
国際興業バス撤退問題等に関連して、市民の公共交通の確保にむけて●公共交通協議会の設置と地域公共交通総合連携計画の策定を

3 職員問題
市職員・臨時職員、教職員が市民本位にいきいきと働ける職場環境と労働条件・処遇改善

1 国保問題
(1)保険税は引き下げの方向で検討すること

2 保健衛生問題
(1)生活習慣病予防について

山田とし子 1日(木) 15・30

(1)血液検査項目に前立腺がん発見に有効なPSA検査も加えること②健診結果の指導について

(2)各種予防接種の充実を①子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの継続を②高齢者に効果の高い肺炎球菌ワクチン補助を

2 地域問題
(1)商店街の街路灯の電気代補助について
(2)久下六道線について

金子としえ 2日(金) 13・10

1 放射能問題
放射能汚染から子どもへの命と健康を守る方策等について

2 高齢者福祉
(1)次期介護保険料値上げの諸要因の中から

(2)所得の少ないお年寄りが安心して入所できる施設の基盤整備を

3 総合政策
(1)(仮)地区行政センターのビジョンと公民館の役割について

(2)呼び込み型企業誘致の可能性と専用道路の必要性について

(3)持続可能な地域社会の構築について